

これからの地域とのつながりかた

TURNS 

ご案内資料

2023年4月現在

株式会社第一プロGRESS

TURNS

TURNSは、
”これからの地域とのつながりかた”をコンセプトに、
地域で起きている新たな動きや、
これまで日本各地で育まれてきた生きる知恵、
地方暮らしを選択した人々のストーリーを紹介しながら、
これからの生き方・働き方を考え
地域とのつながり方を提案していくローカルライフマガジンです。

地方と都市、今と昔、人と人の架け橋になり、
様々な価値観を届けていく。
TURNSならではの視点で日本の地域を切り取りながら、
自分らしい暮らしを作るヒントや、生き方の選択肢を伝えています。

「地域と関わりたい」「移住をしたい」と考える読者だけではなく
地域で暮らす人たち自身も、自分の地域に愛着を持てるよう
雑誌媒体をはじめ、ウェブ、リアルな場を通して
地域の魅力を届けていきます。

“ローカルから日本を元気にする。”
それが、TURNSの願いです。

媒体概要

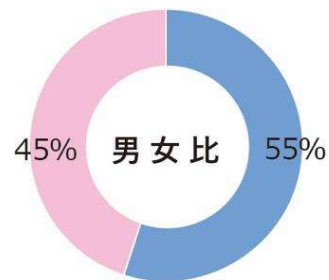
雑誌名：URNS（ターンズ）
発行元：第一プロGRESS
創刊：2012年6月
発行部数：6万部／号
発行日：2,4,6,8,10,12月の20日発行
※全国書店にて取扱い

URNSの強み

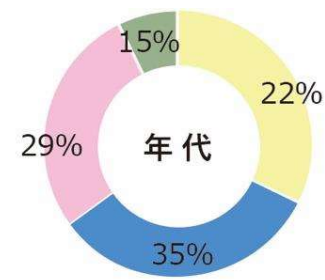
- ・移住、シティプロモーションにおける地方自治体との実績やコネクション
- ・日本各地の地域プレーヤー、ライターカメラマン等のクリエイターとの繋がり
- ・雑誌だけにとどまらないリアルな場づくりやイベント運営、情報発信
- ・自社メディア「tocotoco」「LiVES」や、他社メディアと連携した企画提案

読者データ

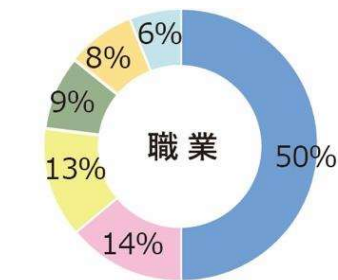
読者の興味関心として「移住」「田舎暮らし」といった地方のイメージに加え、最近では「二拠点居住」「テレワーク」など時間と場所にとらわれない働き方から「複業」「パラレルワーク」「継業」「ワーケーション」といった多様な生き方ができるフィールドとして地域に目を向ける若い層が増えており、地方との関わり方も多様化し始めてます。



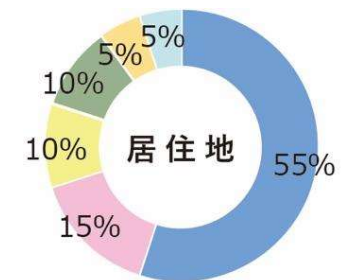
女性 男性



~20代 30代 40代 50代~



会社員 フリーランス 自営業
自治体 学生 その他



関東 近畿 北海道・東北
中部 九州 中国・四国

※イベント参加者・メルマガ登録者・Facebookフォロワー等、弊社で獲得した情報から統計しています。

特集例

移住、暮らし、シゴト、地域活性、まちづくり、起業、一次産業、ものづくり、伝統、文化、関係人口、観光…など、毎号テーマを設けて”地方のいま”をTURNS独自の視点で特集しています。



【最新号】
Vol.58[2023 6月]
移住してでも働きたい、地域の会社



Vol.57[2023 4月]
継ぎたい継がせたい
地域の仕事



Vol.56[2023 2月]
地域おこし協力隊という
選択肢と未来



Vol.55[2022 12月]
地域を幸せにする
ビジネスの作り方



Vol.54[2022 10月]
新しい移住の地図



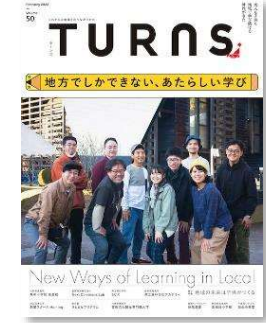
Vol.53[2022 8月]
ワーケーション最前線



Vol.52[2022 6月]
ローカル食文化が
まちを変える



Vol. 51[2022 4月]
リノベーションまちづくりが
地域をもっと元気にする!



Vol.50[2022 2月]
地方でしかできない、
あたらしい学び

URNSができること

URNSでは、メディア活用した情報発信を軸に様々な取り組みを行なっています。移住検討者はもちろん、広く地域と関わりたい方、地域のプロジェクトに参加したい方、また受け入れ側の地域への学びの提供など、様々な層に向けてアプローチしています。

リアル・オンライン共に地域と関わるきっかけとなるイベントや、現地体験ツアーを企画します。テーマ設定から当日の運営まで一括して実施します。URNSでの告知も行き、地域に関心のある読者を集めます。



【雑誌掲載】タイアップ記事例

クライアント様の希望・目的に応じて、内容協議の上、編集部と連携しながら記事制作を行っていきます。
また、オリジナルのタイアップ記事だけでなく、各特集に絡めた広告企画もご提案できます。



【秋田県】 ※本誌2P掲載（現地取材あり）
関西から移住し、カフェを開いたUターン事例を紹介。
オンラインツアーや参考サイトの告知を掲載。



【埼玉県飯能市】 ※本誌8P掲載（現地取材×2回）
移住先として人気の理由である「飯能住まい制度」。
制度利用の例として隣接する青梅市から移住した方を
紹介。

【雑誌掲載】地域ルポ

地域ルポでは、毎号、全国の市町村の中から今注目の地域に関するヒトモノコトを8Pにわたって一挙にご紹介します。町の概要から、まちで活動する地域プレイヤー、地域で生まれた拠点や活動・商品、イベント、観光情報まで幅広くお伝えします。

オプション

抜刷り冊子化



オプションで地域ルポで掲載した8Pを再編し、表紙や新規ページを追加してオリジナル冊子として作成いたします。

さらに、本誌へ綴じ込みも可能です。

町の紹介と合わせて、首長とTURNSプロデューサー堀口の対談記事を掲載することで、町が力を入れて取り組んでいる制度や活動についても広くアピールする機会に繋がります。

【雑誌掲載】移住者紹介「わたしもTURNSになりました」

「わたしもTURNSになりました」コーナーでは、TURNSがきっかけで移住された全国の先輩移住者をご紹介します。ターズに掲載した記事をご覧になられた方やターズで実施したツアー・イベント等に参加されて移住した方がおりましたら、ぜひターズまで情報をお寄せください。

移住のホンネ

Q. 新天地はどんなところですか？

A. ちょうどよい街並みだと思います。東京へは電車で1時間程度。豊かな自然と静かな暮らしが魅力です。自然豊かな環境が良ければ満足度は高いですね。

Q. 移住先を決める際、参考にしたモノや人はいませんか？

A. TURNSのイベントなどに参加して情報収集をしました。あえて別の地域で活動されている方とも繋がりが、暮らし方や働き方の視座を広げることで、自分の生き方の選択を確信するようになりました。

Q. 移住するにあたり、大変だったことは？

A. 妻が交際を辞め、交際をかけたまま、あきらめました。普通の生活をしながら、土地探しやマイホームの資金、各種手続きなどないといけないので、今更に戻す後悔は大変でした。

Q. これから移住を考える人へメッセージ

A. 自分にあった移住のスタイルを見つけたいです。同じことあると思いますが、その時は失敗経験が糧になりますが、「たとえつらさ」を乗り越えれば、安心して移住できると思います。



**TURNSさん
の
お気に入り**
TURNS
FAVORITE
THINGS



1. 蔵の街並み

栃木市は江戸時代から番町、問屋街として栄え、巴波川周辺は今も見世屋や自解の土蔵群が残っています。夜は季節に応じたライトアップを実施。11月1日から「うすまの竹あり」が開催されます。

3. 栃木市観光交流館「蔵なび」

栃木駅北口にオープンした新たな観光拠点。Wi-Fi完備した休憩スペースは学生や市民も気軽に利用可能。営業コンテナや特産品の物販などもでき、土曜と祝日は移住定住相談窓口も開設しています。

2. 出流そぼり

出流観光会と栃木地域おこし協力隊が協力し、そぼりを地元でイチから栽培、収穫、そば打ち、食すまでを行う企画を実施しています。8月末に第一弾として鑑賞会を行い現在順調に成長中です。

4. SEKEN

TURNSのイベントで知り合った方が運営する、隣の小山町のコワーキングスペースです。おやま移住・交流ルーム市、栃木市移住定住支援コーディネーターのコラボプロジェクト「コアローカル」としても活動中。

みなさまからの
おもしろ地域情報
をおまちしております！



TURNSで取り上げてほしいテーマや情報がありましたらご連絡ください。届けていただく場合のみ、編集部よりご連絡いたします。

応募先住所・郵便番号・氏名・年齢・職業・電話番号・メールアドレスを明記して、下記の連絡先までメールでご応募ください。
【応募先】株式会社第一プロダクツ「TURNS」編集部 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-6262-1111 FAX: 03-6262-1112
E: turns@turnsmag.com URL: https://www.turnsmag.com

郵送の受付は毎月15日頃までとなりますので、ご了承ください。なお個人情報は必ずしも公開されるものではありません。掲載編集委員の責任は負いません。

移住して わたしも TURNS になりました

栃木県栃木市

栃木市は景観を定める条例(うすまの竹)の非違により移住してきた。北関東の藩制、川沿いには舟橋歴史や蔵の集積が残り、当時の面影を感じ、蔵の街として知られている。

埼玉県 栃木県



青山 直人さん (36)
TURNSに
なりました
きっかけは
2017年
にTURNSの
イベントに
参加する
など情報
収集を
2019年に
は移住を
決めた。

市町の垣根を飛び越えて
栃木を盛り上げる仕掛け人

移住に踏み切るまで、仕事が見つか
るが、今後の生活はどうなるのかと悩
んだこともあったという。その不安を払
ききつたことになったのが、「TURNSの
イベントだった。イベントがあったの
は栃木市の隣の小山町でした。そこ
で知り合った人とその後交流を続け
て、色々な情報を聞いたり、収集したり
するなかで、今年から栃木に移住す
るべく準備を始めています」
現在は東京に拠点を置く会社員と
してフルタイム勤務をしつつ、栃木市
の移住定住支援コーディネーターも務
めている。今後は栃木市だけでなく、県
内の各地域で活躍する人と連携して情報
発信を行なうプロジェクトも考案中だ。移
住者や移住を希望される方に寄り添い
ながら、自分の住んでいける環境全体が盛
上がる仕組みを作りたい。「力
強く語る姿を見ると、市町の垣根を超
えようという気持ちも湧いてくる。さ
う遠くないと誰かを感じるだろう。」

FUTURE: ミライのハナシ - わたしがこの町でやりたいこと -



ローカルプレイヤーを
増やしたい！

地域で活躍する人(ローカルプレイヤー)にフォーカスしたWebメディアを製作中。
まずは栃木市やその周辺で活躍する人の暮らし方、
働き方をインタビューして、記事にする準備を進めています。

【WEBサイト】turns.jpについて

雑誌と連動した取材記事からWEB独自のコンテンツづくり、全国のイベントの情報、地方に関わる求人募集や住まいの情報など、本誌で伝えきれないリアルタイムな最新情報をお伝えしていきます。

記事カテゴリ

【イベント】 イベント告知

- 例)
- ・移住セミナー
 - ・現地体験ツアー
 - ・連続スクールなど

【地域の暮らし】 地域の取材記事

- 例)
- ・移住者インタビュー
 - ・暮らしに役立つ情報
 - ・お試し暮らしルポ
 - ・住まい情報など

【トピックス】 お知らせ・レポート等

- 例)
- ・キャンペーン告知
 - ・イベントレポート
 - ・町や活動の紹介ルポ
 - ・プロモーションなど

【地域のしごと】 求人情報

- 例)
- ・地域おこし協力隊募集
 - ・地方企業の求人
 - ・第2創業者募集
 - ・インターン募集など

トップページ見本



新着順に記事が並びます。
PR記事はスライダー非表示となります。



■ アクセスデータ (2021年度実績)

月平均UU数: 約3.4万人

月平均PV数: 約11万

【WEBサイト】オプションメニュー バナー広告掲載

TURNS WEB内にバナー広告を掲載し、全記事ページから該当ページへ誘導します。

このからの地域とのつながりから
TURNS イベント トピックス 地域のくらし 地域のしごと 編集部より オンラインショップ

チョコレート工場の小さな奇跡
kiitos 〔鹿児島県鹿屋市〕
全国の百貨店やセレクトショップの目利きたちが注目するチョコレートブランドがある。2017年に誕生した気鋭のブランド、その名は「kiitos (キートス)」。素材づくりからの全工程を自分たちで担う。鹿児島発のチョコレートブランドはどのようにして生まれたのか。

ローカルフードの流通、食文化を耕す

お問い合わせ
掲載枠
CONTACT

ターズ
2,277 円 (税込) 100%OFF
このページに「もも」を
ターズ
2,277 円 (税込) 100%OFF
このページに「もも」を



記事にリンク

このからの地域とのつながりから
TURNS イベント トピックス 地域のくらし 地域のしごと

ローカル食文化がまちを変える
TURNS vol.52 【4/20発売】

Twitter シェア 160

岡山県 鳥取県 山梨県 石川県 鹿児島県 高知県 宮城県 福島県 滋賀県 編集部より 雑誌をちよい読み

日本には、地域それぞれの、多様な「食」の文化があります。今回の特集では、地域ならではの「食」にフォーカスを当てて、それを資源として活かしながらまちを活性化している人たちを取材しました。ひとつの商品から生まれた地域への波及効果、さまざまな業種の人たちと関わり合いながら食文化を紡いでいく人たち、ローカルフードを幅広く取り揃えて届けるお店など、地域から生まれた食に人の知恵が加わり、まちを、地域を元気にする。「食」がもつ「地域を変える力」。について探究していきます。

効果


- ・新規流入者の獲得
- ・ターゲット層への情報訴求力強化
- ・イベント等の集客強化


【公式SNS】Facebook・instagram・twitter


雑誌にまつわる情報やWEBに掲載中の情報など、TURNSにまつわる様々な情報をSNSを活用して情報拡散しています。


数値データ

(2023年4月現在)

 Facebookフォロワー数：23,812人

 Instagramフォロワー数：11,000人

 twitterフォロワー数：4,898人

 Peatix フォロワー数：3,018人

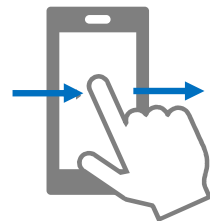
インスタマガジン

本誌掲載記事からピックアップした情報を、マガジン風にInstagramで発信中。



例) 6ページ構成

スワイプ





TURNSが出会い惚れ込んだ全国各地の逸品を、地域と作り手のストーリーと共にお届けします。

TURNS商店の商品ひとつひとつが、あなたらしくて新しい、地域への入り口です。

※TURNS商店での商品のお取り扱いには、諸条件がございます。



一商品例一



藍染草木染エコラップ…
¥ 4,620



藍染草木染エコラップ…
¥ 6,820



すずがみ 13×13 | syo…
¥ 3,025



虫喰いのブックエンド…
¥ 4,620



虫喰いのブックエンド…
¥ 5,720



FACE FIT 正藍染めマ…
¥ 1,980



たつけ<リネン/生成…
¥ 24,000



たつけ<コットン/刺…
¥ 33,000



たつけ<コットン/藍…
¥ 27,000

広告メニュー [雑誌]

掲載スペース	ページ数	掲載費 (税別)	サイズ	原稿制作費 (税別)
<p>【純広告】表4 (裏表紙)</p>	1	¥1,100,000	279×212	<p>■現地の取材・撮影ありの場合</p> <p>¥200,000/1P</p> <p>※カメラマン、ライターの旅費を含む (移動距離や状況に応じて、別途旅費をご相談させていただきます。)</p> <p>■素材支給</p> <p>写真やテキストはクライアント様にご用意いただきます。</p> <p>※原稿制作費はネット料金となります。 代理店様マージンは含まれておりません。</p> <p>※編集ページ内の特別広告枠となります。デザインや構成等は、弊社規定のものとなります。</p> <p>※左記はの費用は、代理店様マージンは含まれておりません。</p>
<p>【純広告】表3</p>	1	¥900,000	297×224	
<p>【純広告】表2見開き (p.2-3)</p>	2	¥1,800,000	297×448	
<p>【純広告】前付 or 中面</p> <p>※前付の場合は、 コラム対向や目次対向の枠です</p>	1	¥800,000	297×224	
<p>【記事広告】中面タイアップ</p>	2	¥1,600,000 ※別途、原稿制作 費が発生します。	297×448	
<p>特別企画 【編集ページ】地域ルポ</p>	8	¥1,600,000 ※原稿制作費を 含みます。	297×448	

※代理店様マージンは掲載費の20%です。(原稿制作費はネット料金となります)

※内容やご予算に応じてお見積りいたしますので、担当までご相談ください。

広告メニュー [WEB掲載]

掲載プラン	価格（税別）	掲載枠	内容
ベーシックプラン （取材なし）	¥ 225,000 掲載費 12,5万円 + 制作費 10万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント ・ トピックス ・ 地域のくらし ・ 地域のしごと 	<p>●現地取材無し（素材支給）での掲載です。弊社既定のヒアリングシートに必要情報をご記入いただき、弊社内で編集・校正して掲載いたします。シート拝受後、約5営業日後に初稿をご提出します。（素材受領～公開まで約3週間程度）</p> <p>地域で開催されるイベントの告知記事や地方のシゴトや移住に興味のある読者へ向けてのオリジナルの求人記事など、お客様に記入いただくヒアリングシートをもとに記事を作成します。</p>
スタンダードプラン （取材・編集あり）	¥ 325,000～ 掲載費 12,5万円 + 制作費 20万円～	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント ・ トピックス ・ 地域のくらし ・ 地域のしごと 	<p>●現地取材をして記事を作成いたします。日数がかかる取材の場合は別途お見積もりいたします。</p> <p>TURNSオリジナルのタイアップ記事を作成します。お客様の課題や要望に合わせて、最も効果的な記事内容を企画ご提案します。（暮らしの情報／インタビュー掲載など）</p>

オプション	価格（税別）	掲載枠	内容
バナー掲載	¥ 30,000	サイドバー 200×200px 以内	TURNSに掲載した記事へリンクするバナーを、サイドバーに掲載いたします。
単体バナー掲載	¥ 50,000 /1ヶ月	サイドバー 200×200px 以内	<p>指定のサイトへリンクするバナーを、サイドバーに掲載いたします。</p> <p>※掲載には審査がございます。TURNSのサイトと親和性の低いものについては掲載不可とさせていただきます。</p>

※基本的に全ての記事はアーカイブとして残りますが、イベントや求人を「受付中」と表示する期間は、原則1カ月以内とさせていただきます。（1カ月以上ご希望の場合は要ご相談）

※公開した記事は、SNSで投稿いたします。（投稿タイミングや回数は、弊社にお任せください。）

※代理店様マージンは掲載費の20%です。（制作費はネット料金となります）

掲載までのスケジュール

雑誌

期日	例：6月20日発売の場合	内容
～発売2ヶ月前	～4月中旬	掲載の決定（枠の確保）・内容の調整・取材手配
発売2ヶ月前 ～前月上旬	4月下旬～5月上旬	現地取材 (または素材準備)
～発売前月中旬	5月中旬	編集部にて記事制作～初校出し
～	～	校正、修正作業
～発売前月末	5月31日	校了
発売日	6月20日	全国書店にて発売 (見本誌の送付)

WEB

期日	期間	内容
～掲載1ヶ月前	約1週間	掲載のご依頼 → 記事内容の調整・取材手配
～掲載3週間前	1日	現地取材
～	約2週間	記事制作～初校出し
～	約1週間	校正～修正作業 (校正は基本的に2回まで)
掲載日	-	サイトにて記事公開

TURNS

事例紹介

【スクール 連続講座】TURNSビジネススクール

地方創生×ビジネス－新しいビジネスをつくる学校！
 新規事業、副職、転職、継業、ワーケーション等...
 地域での持続可能なビジネスを学ぶ「TURNSビジネススクール」開校！

TURNSビジネススクールは、複雑に絡み合う地域課題にチャンスを見つけ出し価値に変換することで、ビジネスを創出するオンラインスクールが、2021年6月より開校しました。

地域資源の活かし方や、ブランディング、マーケティングなどビジネスに必要な全ての要素を学びます。
 ヒト・モノ・カネを動かしながら地域に新しい経済を作る術を伝授し、受講者と地域をマッチングします。



第1期 2021年6月開講



第2期 2021年11月開講



第3期 2022年7月開講

【スクールの特徴】

- ・ビジネスの基礎から徹底的に学べる
- ・第一線で実践している専門家から直接指導
- ・少人数制の同じ志を持った仲間との実践的な学び
- ・全国各地からオンラインで受講可能（アーカイブ視聴可）
- ・メンターによる個別メンタリング
- ・実際に起業に取り組みられた方をTURNSが取材！

【イベント】トークイベント・移住体験ツアー

移住や地域に関心のある読者と、実際に地域で暮らす先輩移住者やキーマンの方々をつなぐリアルな場作りを行っています。連続で参加する講座や地域とのつながりを継続させる工夫など、地域と読者の両者にとって新たな発見となる場作りを大切にします。また取材記事では伝えにくい地方暮らしのリアルな本音などもイベントやツアーを通してお届けします。

リアルイベント



■Girls Meeting Aichi (愛知県 2018年)

愛知出身モデルの「しばさき」さんなど、インフルエンサーらをゲストに女子向けの交流イベントを開催。愛知の住みやすさをクイズ形式で伝え、参加者の満足度を高めた。



■和歌山の「食でつながる人とまち」(和歌山県 2019年)

ビールの造り手になるべく和歌山へ「クラフトビール移住」した方をゲストに、クラフトビールをテーマに開催。



■いごっそう&はちきんナイト2 (高知県 2021年)

高知のおいしい食と地酒を楽しみながら田舎暮らしのリアルを本音で語らう交流会。コミュニケーションの取りやすい15名程度の少人数制で開催。

イベント・ツアー連動型

セミナー・ツアーの連動で、関係人口を創出する。



移住体験ツアー



■農業体験ツアー

(茨城県那珂市 2021年)

「農業」をはじめめる第一歩を踏み出すため農業体験ツアーを開催。収穫体験や農家との交流を通じて、将来的な就農を検討いただく。



■親子でいがたじかん体験ツアー (新潟県 2022年)

新潟県の自然環境や子育て環境を体験し、家族での将来的な移住を検討いただく。移住したお母さん、お父さんとの交流も好評だった。



■みやざきの里山の「仕事」と「暮らし」を学ぶスタディツアー (宮崎県 2022年)

地域おこし協力隊、起業・開業、新規就農など、中山間地域でできる多様な働き方に触れた。



■テレワーク体験ツアー (紀伊半島3県 2022年)

三重県、奈良県、和歌山県の3エリアを周遊し、コワーキングスペースで働きながら、地域の人と交流するテレワーク体験ツアーを開催した。

【イベント】 オンラインイベント

全国各地から視聴者を集め、オンラインでのトークイベントやセミナーを実施いたします。ゲストや司会もオンラインでの登壇ができ、ソーシャルディスタンスの保持や移動コストが抑えられます。

また、現地の様子が伝えられるオンラインでの移住体験ツアーもご提案可能です。

セミナー



■**転職なき移住、パラレルワーク、地方だからできる様々な「働き方」**
(日立市 2022年)
日立市でできる多様な働き方を訴求したオンラインセミナー。TOKYO FM「スカイロケットカンパニー」とコラボした。



■**地域×クリエイティブ**
(紀伊半島3県 2022年)
三重県、奈良県、和歌山県のキーマンが集まり、移住とクリエイティブの関係についてトークした。デザイン、空き家、コミュニティ...様々な側面から「クリエイティブ」を考えた。



■**地域だからできる「起業」「小商」**
(群馬県 2022年)
群馬県の移住セミナーを受託し、全6回のセミナーを開催した。様々なテーマがある中で、仕事の作り方テーマの回は、特に多くの反響を呼んだ。

オンラインツアー



■**飯能オンラインツアー**
(埼玉県飯能市 2021年)
スカロケ移住推進部のコラボで、飯能市の暮らしをオンラインで巡るオンラインツアーを実施。ラジオのMCがイベントの進行も務めた約120名の応募があった。

大規模セミナー



■**スマート農業DXサミット**
(宮城県新富町2021年)
農業分野における、企業・行政・研究者・経営者・スマート農業協会など、総勢12名が登壇するイベントを開催。200名近くの申し込みがあった。



■**あったか宮崎ひなた暮らし WEB移住相談会**
(宮城県 2021年)
宮城県全域の市町村が参加する個別移住相談会をオンラインで開催。イベント専用の予約システム開発から手配。



■**FREE OITA (大分県 2021年)**
大分県の大規模移住フェアをオンラインで開催。LIVE配信トークセッションやワークショップ、古いコンテンツ、個別移住相談を実施。

オリジナル企画



■**オリジナルコンテンツ「聴くTURN」**
おうち時間に、ラジオのように聴いてもらえるオンライントークイベント「聴くTURN」。本誌で取材した方々をゲストに、雑誌と連動した内容で配信している。初回はのべ220名の方が視聴。聴くターンズとコラボイベントも開催も可能。

【イベント】 連続講座 「ターンのがっこう」

「TURNSのがっこう ○○科」と称して、一年を通じて一つの地域を学んでいく連続講座を企画いたします。一つの地域を様々な切り口で、多角的にお伝えしていくことができます。

■ TURNSのがっこう 秋田科（秋田県 2018年）

秋田県の地域ごとに3つの学科を用意し、それぞれ授業テーマを設定して、学科ごとのセミナーと講座現地フィールドワークを行った。卒業式と称して生徒が一同に揃うプレゼン発表会も開催。受講者には卒業証書をプレゼント。



■ TURNSのがっこう 岐阜科（岐阜県 2019年）

観光、林業、デザインなどの仕事や、二拠点居住や空き家の利活用といったまちとの関わり方など、岐阜県という地域をさまざまな切り口から学べる全9回のセミナー。



■ TURNSのがっこう 群馬科（群馬県 2021～2022年）

群馬県の自然にフォーカスしたマインドフルネスや、副業・テレワーク、情報発信の仕方などをテーマに群馬県でできる暮らしを学ぶ全4回のオンライン講座。1回目はリアル会場とハイブリッドで開催した。



■ TURNSのがっこう 鹿児島科（鹿児島県 2020年）

フリーランスの働き方や、空き家の利活用、医療などをテーマに、鹿児島のこれからのを考えるオンラインイベントを全5回開催した。



【イベント】 大規模イベント・移住フェア

■わかやま移住ジャム (和歌山県庁2019年)



和歌山県を3エリアに分けたマルシェ & 移住相談や、TOKYO FM「スカロケ移住推進部」や世界遺産の関係者を招いたトークイベント、梅シロップづくりワークショップ、ゲストハウス座談会、東大みかん愛好会×みかん農家によるキッズワークなどを実施。

会場：東京交通会館ビルカトリアサロンB
来場者数：約300名



■おおいたわくわくフェア (大分県庁 2019年)



首都圏在住者をターゲットに、子育て世代・ファミリー層の大分県への移住を促すため、縁日やお笑いステージイベントなど家族で参加しやすいプログラムやプレゼントを用意し、多くの人に「大分県が子育て世代にやさしく、住みやすい場所」であることをPRするイベントを開催。

会場：東京交通会館ビルダイヤモンドホール
来場者数：約500名



■COCOCHI LOUNGE HOKURIKU (北陸三県 2019年)



富山県・石川県・福井県合同のUIターンフェア。会場をトークステージ・ショップ・キッズ・個別相談ブースの5エリアに分け、回遊できるイベントに仕立てた。ステージでは各県からゲストを招き、北陸の「モノづくり」と「暮らし」にテーマを分けたトークセッションを実施。

会場：TRAVEL HUB MIX
来場者数：約100名



【イベント】 マルシェイベント 「いっぴんいち」 (協力：合同会社パッチワークス)

「日本全国 津々浦々な、その土地らしいモノを、その土地の物語と一緒に」

いっぴんいちとは、その土地のいっぴん（1品・逸品）が集う一日限りのマルシェ。想いや温もりを添えながら、ものやまちのストーリーを伝え、人と人のコミュニケーションを広げ、そのまちのひと・もののファンを増やします。

■旅するいっぴんいち（オリ・パラ首長連合 2020年）

虎ノ門の新虎通りを会場に、首長連合加盟の自治体がそれぞれ一品を持ち寄って「旅するいっぴんいち」を開催。選りすぐりの一品に絞ることで、出店者とお客様との会話が生まれやすく、話し込む姿や売り切れになる店も見られた。好評につき、連続開催している。



■埼玉！いっぴんいち（埼玉県庁 2020年）

池袋西口公園にて、埼玉県内の市町村で生まれたいっぴんを集めた「埼玉いっぴんいち」を開催。東京から近くも実はまだまだ知られていない埼玉の「いいもの」をPRした。行列ができる店舗や早々に売り切れる店舗もあり、多くの人が集まった。



■旅するいっぴんいち オンライン（オリ・パラ首長連合 2021年）

出店者が出演する形で、オンライン版の旅するいっぴんいちを開催しました。紹介したいっぴんはその場でネット注文できるよう誘導も行いました。

※「いっぴんいち」は合同会社パッチワークス立案の企画です。第一プログレス一社単体での実施は行っておりません。



【イベント】 学生向け企画

首都圏の学生向け

若年層に向けたPRや新たな地域資源の発掘を目的として、都市部の学生に向けた現地体験フィールドワークを実施します。現地の人と交流し、地域に愛着を持ってもらうことで、学生にとっての第二のふるさとを作り、未来の地域に関わる人材育成を目指します。

また、ツアー中に魅力発信講座やアイデア会議、取材講義といった学びの要素も盛り込み、地域資源を若者目線で発掘してもらい、情報発信も行なっていきます。

■ #かみのやまローカルインターン（山形県上山市 2017年）

プロジェクトの流れ

- ①関東在住の学生とともに上山市で魅力発掘&取材ツアー
- ②学生による取材レポートの制作
- ③WEBページ制作「#かみのやまローカルインターン」



参加学生が撮影・執筆

地域の学生向け

若年層の市外流出が顕著なことから、地域の担い手づくりを目的とした“郷土愛の醸成”を行います。高校生がまち歩きし、写真撮影や取材を通じて地域の魅力を発掘することで、一度進学したとしても「また地域へ戻ってきたい」「地域に関わっていたい」といった想いを抱くことができます。この講座を『富岡市メディアラボ』と名付け、メディアを使った情報発信方法も学ぶことで、高校生自らがSNSなどを通じて地域の魅力を発信したくなるように仕掛けていきました。

■富岡市メディアラボ（群馬県富岡市 2018年）

プロジェクトの流れ

- ①イノベーターや講師からまちづくり事例を学ぶ
- ②バリスタ体験を通じてまちづくりの楽しさを学ぶ
- ③SNSを使った情報発信講座
- ④カメラを持ってまちあるき（編集、ライター、取材体験）



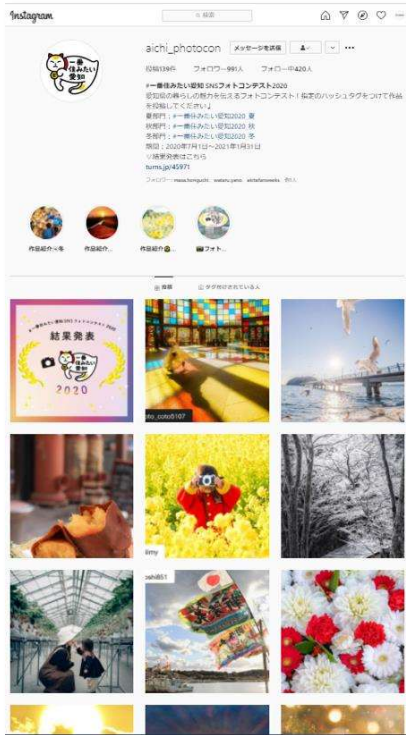
【SNS運用】SNSを活用したプロモーション

InstagramなどのSNSを活用して、参加型のフォトコンテストを実施。

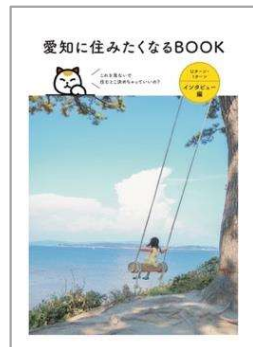
投稿者にとっては自分のまちの魅力を見つけ、再発見するきっかけになり、閲覧者は魅力的な写真作品を通じてその場所への関心が高まり、双方がまちへの関心を持つ契機を作ります。また、入賞作品は広報に使用するなどの活用もできます。

■一番住みたい愛知フォトコンテスト (愛知県庁 2018~2020年) @aichi_photocon

公式アカウントを開設し、SNSを活用したフォトコンテストを開催。応募作品のリポストのほか、独自にコンテンツを作り愛知県のスポットを紹介するインスタマガジンも投稿。2500件を超える作品の応募があり、フォロワー数も1,000人を超えた。



優秀作品を表紙にした冊子も制作



■埼玉ものがたり (埼玉県庁2019/2021年) @saitama_story

埼玉県公式アカウントを開設し、県内協力者と共に現地での暮らしの魅力やイベント情報を発信。また、フォロワー数獲得のために同アカウントを利用したフォトコンテストも開催。2000件以上の応募作品から10作品を選び、イベント展示で一般投票を行った。



URNS誌面にて作品を紹介



■#私のいしかわ暮らし投稿キャンペーン 2021 (石川県庁 2021年) @ishikawa_kurashi

石川県内在住社に向けて、暮らしの魅力が伝わる文章と写真をSNSで公募するキャンペーンを春夏編・秋冬編と季節を分け2期に渡って実施。春夏編では4ヶ月で約1500件の投稿があった。また、キャンペーン用に特設サイトのリニューアルを行った。



【SNS運用】独自のコンテンツ作り（インスタマガジン）

Instagramで、複数の写真をマガジン仕立てで閲覧できるインスタマガジンの制作も承ります。

■千葉県いすみ市（2019年）



■愛知県庁（2019年）



■福島県庁（2020年）



■南相馬市（2022年）

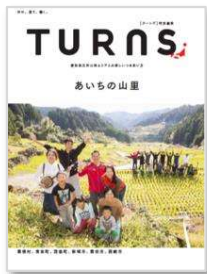


【制作物】 冊子、動画

冊子

地域で暮らすことの良さを伝えるため、仕事の見つけ方、子育てのしやすさ、豊かな自然の魅力、移住制度など、掲載したい内容をご相談をさせて頂きながら制作します。TURNSで掲載した内容を抜き刷りして冊子化することも可能です。

■愛知の山里（愛知県庁 2019年）



「TURNS」本誌に綴じ込んだ。マシン目から切り取りできる。

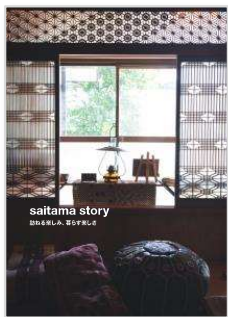


■エフステ！（福島県庁 2020年/2021年）



■saitama story（埼玉県庁 2019年）

川越で人気のフリーペーパーとタイアップして制作。



■I'm home!Tokamachi（十日町市 2020年～2022年）



現地在住チームと協力して制作

動画

企画立案から撮影、編集、音源の手配まで一貫して行います。ドローンを使った空撮も対応しています。

制作した動画は、TURNSのFacebookや、YouTubeアカウント内での紹介も可能です。

<https://www.youtube.com/channel/UCoGduEvvJ2ay2EU-2uL5FnA>

■テレワークのイメージ動画（群馬県 2022年）



■対談動画（TURNSビジネススクール 2021年）



■インタビュー動画（千葉県 2021年）



■インタビュー動画（福島県 2021年）



■PR動画（徳島県佐那河内村 2019年）



■イベントレポート動画（岐阜県郡上市 2017年）



【制作物】ウェブサイト

移住ポータルサイトやキャンペーンサイトなど、地域の魅力を伝えるサイトを制作します。サイトの新たに載せる記事コンテンツの作成（企画・取材・編集等）も承ります。

■関市移住定住ポータルサイト（岐阜県関市 2019年）

<https://www.sekikurashi.com/>



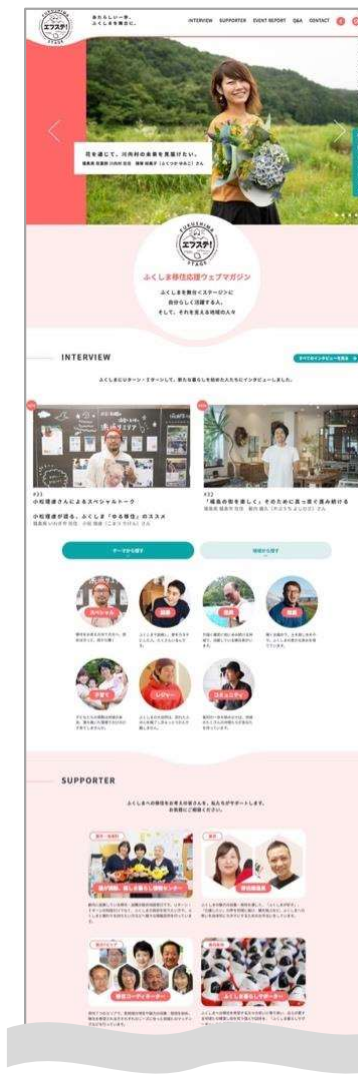
■まゆといと（群馬県富岡市 2018年）

<https://mayutoito.jp/>



■エフステ！ふくしま移住応援WEBマガジン（福島県庁 2019年）

<https://fukushima-stage.jp/>



【制作物】ウェブサイト

■本庄市LPサイト（埼玉県本庄市 2022年）



■鳥取県移住フェア（鳥取県 2021年）
<https://sumuhataraku.jp/>



【制作物】ウェブサイト

■深谷市移住定住サイト (埼玉県深谷市 2019年)

<https://fukaya-ijyu-teijyu.jp/>



■とおかまちのしごと&求人図鑑 (新潟県十日町 2020年)

<https://tokamachi-works.jp/>



【ラジオ】東京FM「スカロケ移住推進部」 × TURNS

東京FMの人気番組「skyrocket company」内でスカロケ移住推進部で、地域のPRが可能です。タイムリーな情報を、ラジオ・webでリスナーに地域を魅力を伝えます。ラジオ放送だけでなく、リスナー向けのオフ会イベントやツアーなど、リアルイベントも展開。TURNSのプロモーションと合わせることで相乗効果が期待できます。

番組概要



「スカイロケット・カンパニー」=スカロケ(月～木)17時～19時52分放送「Skyrocket Company」は、あらゆる企画を通じて、社員=リスナーと力を合わせて、明日への狼煙(ノロシ)を上げる為のラジオの中の会社です。

スカロケ移住推進部
毎週木曜日 18時25分頃～

スカロケ移住推進部長・堀口正裕さん (TURNSプロデューサー)
とともに、リスナー社員の可能性を広げるため
日本全国の魅力を発信中！木曜日は、スカロケ流
働き方・生き方改革を考えましょう！

コーナー名 : 『スカロケ 移住推進部』
放送日時 : 毎週木曜日18:25～ (10分コーナー)
放送局 : TOKYO FM
出演 : マンボウやしろ、浜崎美保、堀口正裕
番組HP : <https://www.tfm.co.jp/sky/iju/>

コラボイベント

自治体とのタイアップ企画で、パーソナリティが出演するイベントやツアーの実施も可能です。番組で地方移住や地方に興味関心のあるリスナーに地域の魅力をタイムリーに伝え、集客に結びつけます。これらのコラボ企画から実際に移住するリスナーが増えてきています。

■愛顔のひめパーティー
(愛媛県 2018年)



■バリカタ！フクオカ！
(福岡県2020～2021年)



■とっとり地域活動体験ツアー (鳥取県 2019年)

鳥取県とのタイアップ企画で、ラジオでの情報発信+オフ会+TURNSでの情報発信をセットで実施。



【ラジオ】TBS ラジオ「ONE-J」 × TURNS

地方創生プログラム「ONE-J」は、JRN（ジャパンラジオネットワーク）加盟の32局が一丸となり、全国の地方創生に関する情報を発信すると同時に課題を解決するプラットフォームとして2021年に始まったラジオ番組です。2022年4月からは、TURNSとコラボレーション放送もスタート。パーソナリティーの本仮屋ユイカさん、斉藤慎二さん(ジャングルポケット)とともに、TURNSプロデューサー堀口正裕が月に一回、地方で起きている注目のトピックをお届け。一つの自治体を集めるタイアップ放送も可能です。

番組概要



番組名 : 『ONE-J』（ワンジェイ）
放送日時 : 毎週日曜日 AM8時～AM10時 生放送
出演 : 本仮屋ユイカ、斉藤慎二、堀口正裕（月1回）
番組HP : <https://www.tbsradio.jp/onej/>
放送局 : TBSラジオをキーとする全国のJRN加盟32局

【JRN加盟32局】

北海道放送・IBC岩手放送・秋田放送・東北放送・山形放送・ラジオ福島・TBSラジオ・山梨放送・新潟放送・北日本放送・信越放送・静岡放送・CBCラジオ・北陸放送・福井放送・毎日放送・和歌山放送・山陰放送・RSK山陽放送・中国放送・山口放送・西日本放送・四国放送・高知放送・南海放送・RKB毎日放送・長崎放送・熊本放送・大分放送・宮崎放送・南日本放送・琉球放送

コーナー紹介

8:10頃～/8:25頃～《ローカル・レコメンド》

各地のとおきなおきな情報を現地の人からレポート！レポーターは、地元愛で溢れる現地の職業の皆さん

8:43頃～《もぐもぐマルシェ》

全国のおいしいものを集めた物産展を開催するため、“ご当地グルメ”を食べて！飲んで！全国に発信します！

9:04頃～《トゥデイズ ピックアップ》

各地の新しい取り組みについて現地の人にインタビュー！

▼紹介例



岩手県紫波町「オガールアリーナ」



岡山県立倉敷商業高等学校
地元の朝ごはんを地方創生



長崎県 チリンちりんあいす



鳥取県地域おこし協力隊

【連携事業】 emmy Wash × TURNS

笑顔で感染予防しながら、大人も子どもも社会貢献！

TURNSでは、除菌噴霧器「emmyWash（エミーウォッシュ）」本体を無料で企業様や自治体様にご提供し、除菌液の利用料を社会課題の解決に充てる事業を行なっています。emmy Washは、センサーが笑顔を検知すると、除菌液を噴霧する装置で、笑顔の数が「emmy」という通貨単位として集計され、その一部（除菌液の売り上げを利用）がemmyBank協会を通じて、感染症対策プロジェクトへサポートや除菌剤の提供といった寄付活動に充てられます。

emmyWashの流れ



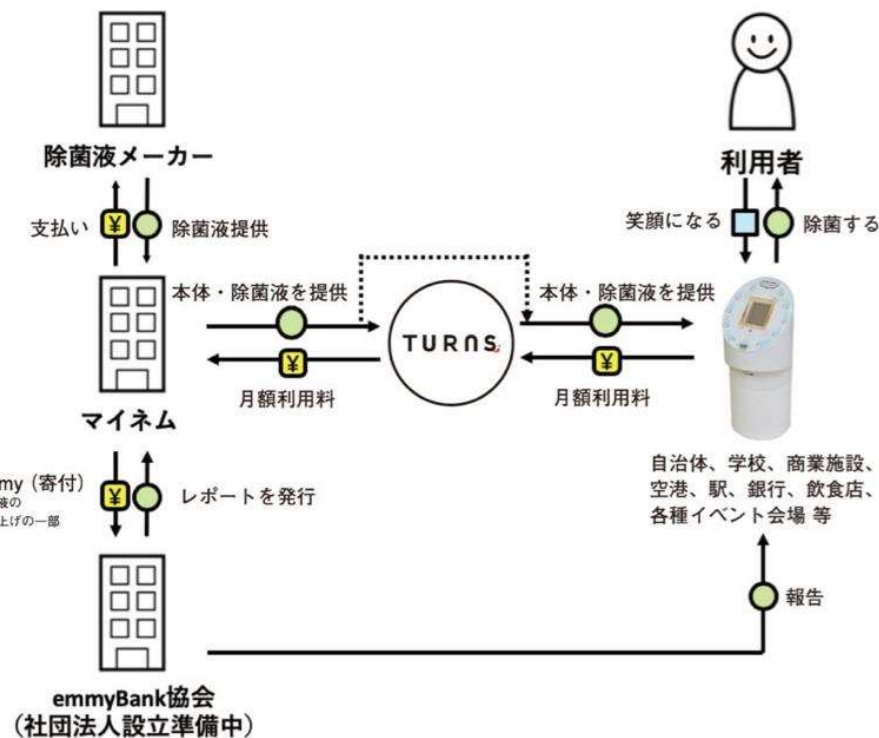
＼笑顔でシュ！／



Emmy Wash本体



オプションでオリジナルの盤面もオーダーできます！



利用料について 全て、消費税別、配送料込み

[初期登録費用] 10,000円/台
emmyWash設置料、オリジナル盤面費用、専用マット、故障対応費用が含まれます。
3年間の利用が前提となります。

[月額利用料金]

除菌液 (1本500ml:約400回利用分) の本数に応じて利用料金が発生します。

- 1本パック: 3,500円/月
- 2本パック: 4,500円/月
- 3本パック: 5,300円/月

[オプション費用]

除菌液の追加: 1本あたり1,500円
オリジナル盤面の追加: 1枚あたり8,500円(デザイン費用は別途)
専用マットの追加: 1枚あたり1,500円



emmyWashが主に解決していくSDGsテーマ

emmyWashを設置することで、SDGsへの取り組みとしてPR！

【その他】地域のプロモーション

ファン作り企画

■Akita Fan Weeks（秋田県庁 2017~2018年）

すぐ移住するにはハードルが高く効果が出にくい。そこで、移住潜在層をターゲットに地域に興味関心を抱かせる“ファンづくり事業”を仕掛けました。移住潜在層は暮らしの感性が高い“暮らし系男女”と仮定し、暮らし系男女が気になる「食（野菜、果物、お酒etc）・手づくり（工芸、木工、手仕事etc）・表現（アート、写真、instagram）」をキーワードに、様々なイベントや情報発信が展開しました。

<プロジェクト全体像>

- ①無印良品有楽町店舗にて「秋田フェア」の開催
（MUJIcafeでオリジナルメニュー提供、PRコーナーの設置、ワークショップ開催）
- ②アートギャラリーにて秋田にまつわる写真展示とイベント開催
- ③WEB・紙媒体を活用した総合プロモーション
（特設サイト/SNSの作成・運用、雑誌/WEBなどの他媒体を活用した記事掲載）

▽岩倉しおりさん写真展



▽無印良品との取組



▽TURMS掲載



編集部でプロジェクトをレポートし、TURMSに綴じ込みました！

映画

■『36.8°C サンジュウロクドハチブ』（兵庫県加古川市 2013年）

映画24区が2013年に山形県鶴岡市で制作した女子高料理部を舞台にした青春映画『乙女のレシピ』が「ぼくらのレシピ図鑑」となって、2017年夏より各地域でシリーズ展開を行っています。地元の高中生や町の人たちを対象にした演技や脚本のワークショップを行いながら、実際の作品にも一部出演していただきます。完成した映画は、地元の映画館にて公開。日本の地域映像や食に関心のある海外に向けても幅広く発信していきます。



主演：堀田真由



【その他】 「窓」を通じた様々な地域との連携

「窓」とは！？

MUSVI株式会社が、テレプレゼンスシステム「窓」を活用した空間接続ソリューション事業をスタート！

「窓」は、距離の制約を超えて、相手が目の前にいるようなリアリティと、同じ空間を共有しているような気配や雰囲気を感じさせる次世代コミュニケーション装置です。“リアル”に会うことができる「窓」を通じて、リアル空間同士、そして、リアル空間とバーチャル空間もつなぎ合わせていくことができます。

このように、世界中の80億の人とコミュニティが出会い、結ばれていくプラットフォームを、MUSVI株式会社は提供していきます。



活用シーン

様々な地域・行政で「窓」を活用されています！

- ① オフィス
・
現場
- ② 医療
・
介護
- ③ 地域創生
・
教育

※この他にも、地域が抱える様々な課題・シーンに合わせて利用されています。

＼TURNNSコミュニティスペースにも「窓」を導入しました！

「窓」を持つ地域の皆さん、一緒に繋がりましょう！！

現物を見たい方も、お気軽にお問い合わせください。有楽町でお待ちしております♪



MUSVI



<https://musvi.jp/>

【その他】relay（株式会社ライトライト）×TURNS

「relay」・・・事業承継マッチングプラットフォーム

【現状】とまらない少子化のなかで増え続ける廃業が深刻化。2025年には127万者が後継者不在という予測も。



【課題】毎年、年間50,000件ほどが休業廃業するなかで約6割（30,000件）が黒字。
ただ、背景に“ノンネーム”ルールが存在するため、後継者を募集していることが買い手側に伝わらない。
（地域事業者の廃業を誘発し地域衰退を招く大きな社会問題になっている）



情報をオープンにして、後継者を募集していることを知らせよう！“オープンネーム事業承継”文化の構築。

【連携成約事例】 天然酵母 いなかのパン屋（宮崎県高原町）

買い手がTURNSを立ち読みしたことがきっかけで、後継者を募集しているパン屋があることを知った。

その1年後には、千葉県から宮崎県へ家族でUターンしパン屋を後継。今や全国放送で特集が組まれ、予約の取れない大人気店となる。

From

売り手

◎ 宮崎 ◎ 60代

- まちに1件しかないパン屋さん
- 地元の素材を生かしたパンでファンも多い
- ご高齢のため後継者を募集



To

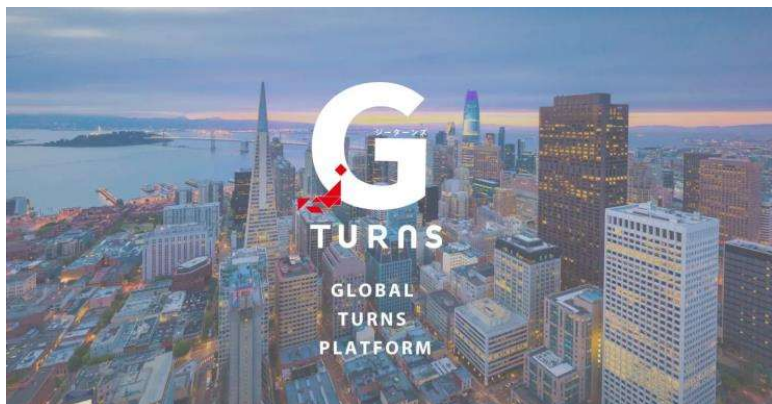
買い手

◎ 千葉 ◎ 30代

- 千葉から家族でUターン
- 機材とレシピを引き継ぎオープン
- 全国放送で特集を組まれるほど話題に



【その他】GTURNS



GLOBAL TURNS PLATFORMは、「TURNS」、東京と地方をつなぐ「IRODORI」、起業家の聖地アメリカ・シリコンバレーに拠点を置く「B-Bridge International, Inc.」によって、「今こそ日本のローカルをグローバルへ」というキーワードをもとに日本から世界へ挑戦し、ビジネスチャンスをつかむためのプラットフォーム。

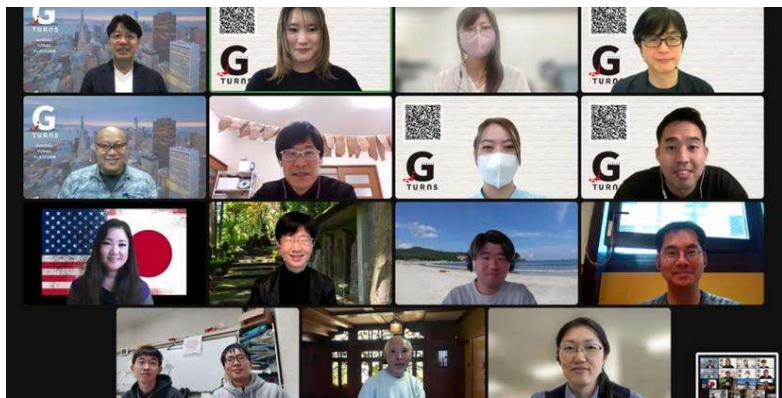
【活動内容】

- ・ オンラインアウトバウンド
- ・ オンラインインバウンド
- ・ オフラインインバウンド
- ・ グローバルマインド育成
- ・ グローバル戦略構築支援

オンラインイベント

2023年1月～日本のローカルを参加者の皆さんに身近に感じてもらい、日本の魅力を語りあうとともに、GTURNSとは何かを知ってもらおうという趣旨でスタートしたアメリカと日本を繋ぐオンラインイベント。

イベント内では、実際に活躍されているローカルプレイヤーをゲストに呼び地方の魅力など話を伺いながら、参加者も一緒にトークできるイベントとなっている。



▲日本時間4/21（金）12:00～開催したオンラインイベント

クラフトバレープロジェクト

- ・ 富山県南砺市
- ・ 富山県高岡市
- ・ 富山県氷見市
- ・ 石川県小松市
- ・ 岐阜県飛騨市

広域地域連携



富山・石川・岐阜などの一部エリアの広域連携とグローバルにおける発展を目指し、伝統工芸やモノづくり産業が盛んな地域の集合体として連携し、米シリコンバレーで開かれる物産展に出展。各市の企業の海外進出や販路開拓、知名度アップに県境を越えた広域連携で挑む初めての取組み。

